

令和5年1月20日

二本松市議会議長 様

会 派 名 令和創生の会  
代表者名 本多 俊昭



## 研 修 報 告 書

本会派において、下記のとおり研修会に参加したので、報告いたします。

### 記

1. 研 修 名 令和4年度 第3回「市町村議会議員特別セミナー」
2. 研修日時 令和5年1月10日（火）～1月11日（水）  
1日目 13時00分～16時35分  
2日目 9時00分～12時30分
3. 研修場所 市町村アカデミー
4. 講 師 等 歴史家・作家 加来 耕三 氏 他別紙のとおり
5. 参 加 者 ① 本多 俊昭..... ② 小林 均.....  
③ ..... ④ .....



(別紙2-2)

## 視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 令和創生の会

氏 名 本多俊昭

○ 月 日 令和5年 1月 10日 (~11日)

○ 場 所 市町村アカデミー

○ 内 容 市町村議会議員特別セミナー

### ○ 視察・研修の感想

講演1, 「歴史に学び地方の未来を読む」 加来耕三 氏

歴史小説や大河ドラマは後で作られたもの、今日まで伝わっている歴史を疑い、いったん立ち止まって考えることが大事。奇跡は起こらない。原点に立ち返り、素人の常識を持って正しい歴史から学び、数字を重視して原理原則に沿って着実に行動することが大切であるとのこと。経済はもはや高成長は見込めない、心豊かに生きていく道を探るのが良いとの講演でした。また、講演の中で「鳴かぬなら殺してしまえホトトギス」は誰の言葉ですかと聞かれ、誰もが、織田信長と思ったのですが、加来先生は、徳川家康とのこと。実は織田信長こそが、大局観、先見性に優れ「鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス」とじっくり準備をした武将だったとのこと。ユーモア溢れる講演でした。

講演2, 「地域の魅力の創造と発信」 田中里沙 氏

事業を描くには資源が大切であり、資源を発掘、発見し、理想を掲げると賛同者が集まると事業構想の流れについての説明があり、変化し続ける社会の中で、事業構想も重要である。また、PR手法に工夫を凝らして観光客を集めることに成功した地域の好例を挙げながらアピールの仕方で価値、注目、人気が出る。眠っていたものが商品になる可能性を秘めている。また、さまざまな価値基軸を提案することも必要で、メディアやクリエイターと手を組むことも有効であるとの講演でした。

講演3, 「ポストコロナ時代における自治体と議会の役割」 大杉 覚 氏

コロナ禍は分断社会の脆弱さを露呈し、その綻びから生じる負の連鎖が思わぬ脅威を日々の暮らしにもたらした。また、対症療法的に対応しても抜本的な解決策にはならないことや、見失われがちであった多様性・普遍性・包摂性を取り込んだ新しい日常の構築がコロナ禍を乗り越えた先でも必要である。今後、どこまで、どれだけリセットを実践できているか。社会観は変容しつつある。その一つの考えとして、「適疎・適密」社会という発想がありうるのではないかとの講演でした。

講演4, 「日本経済の課題と展望」 矢島康次 氏

政府が2015年度以降、法人実効税率を段階的に引き下げてきたが、企業が減税分を賃上げや設備投資に回す状況になっていない。今年議論される税制項目は、人への投資、脱炭素、自動車、NISA、ストックオプションなど。金融市場では、資産所得倍増プラン、そのめだまであるNISAや金融所得課税に注目が集まっている。投資対象という意味では、日本企業や日本経済の復活ができる税制改革になるかがカギとなる。また、国際情勢が緊迫化する中、今年は防衛費増額の財源問題に焦点が当たるとの講演でした。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

上記の研修の感想を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、さまざまな場面で非対面・非接触のニーズが高まり、コミュニケーション手法としてオンラインの活用など、人々の生活様式に変化が生じました。今後、新型コロナウイルスの収束後も定着・発展させることで、多様な働き方・暮らし方が選択でき、より便利で豊かな新しい生活様式を実現させるため、デジタル技術を活用し、アナログでは出来なかった課題の解決や新しいサービスの創出につなげるデジタルトランスフォーメーション(DX)が求められますことから、DXを実現させていくために各種研修において必要な知識や参考となる事例を学び業務に活用することが必要と考えます。

# 研修結果報告書

## 1 研修の目的

市町村議会議員特別セミナーに参加し、①「歴史に学び地方の未来を読む」、②「地域の魅力の創造と発信」、③「ポストコロナ時代における自治体議会への役割」、④「日本経済の課題と展望」の4つの内容を最新の情報をもとに、それぞれの分野で活躍されている講師の講演を聞き、勉強する。

## 2 研修結果若しくは成果

### ①「歴史に学び地方の未来を読む」歴史家・作家 加来 耕三 氏

どうすれば歴史から学べるのか、歴史を仕事に生かせるのか。立ち止まってものを考える事が大事。明治維新の具体的な歴史上の事実をあげて、講演。BS テレビでの語りそのままの面白い講演だった。

### ②「地域の魅力の創造と発信」事業構想大学院大学学長 田中 里沙 氏

能登半島の最先端石川県珠洲市のSDGs新規事業開発(キノコやハーブのブランド化の事例)、横浜市地域エコシステムの構築と進化の事例、などを通し、①社会、地域、企業を取り巻く環境変化 ②経営資源を元手に事業の構想 ③DXをいかした新事業 ④地域における産官学研体制の構築 ⑤共創とコミュニケーション の5点について講演。本市でも様々な地域資源と人材を見つけることで新たな事業に取り組むことが可能だと思った。

### ③「ポストコロナ時代における自治体と議会の役割」

東京都立大学法学部教授 大杉 寛 氏

①地方制度調査会「地方議会」答申をどう受け止めるか ○夜間・休日の議会開催○女性や若者、育児・介護に携わる者の議会参画○議員報酬の改善(小規模市町村) ○立候補環境の整備(企業の休暇制度、議員の副業・兼業を可能にする○議会のデジタル化

②Beyond コロナの適疎・適密社会と「協創」 ○どのような立場でも孤立して取り残されず、過度に人口や社会経済活動が集中してギスギスしない社会○豊かで創造的な暮らしが可能な程度に、適度に人と人のつな

がり・交流が確保された暮らし良い社会（事例 北海道 東川町）

③自治体の未来図と議会・議員の役割 ○自治体こそ持続可能な「公平」を重視○「持続可能性」とは現状維持ではなく、将来世代のニーズを妨げる現状があれば直ちに修正する○議会の役割として行政の言い分による「公平」が罷り通っていないかを絶えずチェック  
コロナを乗り越えた先の「新しい日常」の社会にあって地方議会は「多様性」「持続可能性」の視点から、二元代表制の一翼として住民自治と団体自治の結節点にある中枢機関として合意形成・政策形成・執行監視で果たす役割が増大している。今後の様々な問題点を確認できた。

#### ④「日本経済の課題と展望」

ニッセイ基礎研究所常務理事・チーフエコノミスト 矢嶋 康次 氏

①2023年はどんな年になりそうか — 米利上げで労働市場は調整するの  
か。米国景気後退の長さ、深さは。米国の景気後退は日本の景気後退を  
引き起こす。日本にとっての試練は2023年の半ばころからの下り坂。日  
本は次の成長の芽が見えるのか。

②新冷戦構造で何が変わるのか — 日本は地理的に厳しいところにある。  
民間にとっての経済安全保障。本丸は中国、切っても切れない中国との  
経済関係

③日本の稼ぎかた — 価値判断が変わる。デジタル×リアル日本の製造  
業の復権。生産性を上げられるかが「維持可能」の大前提。イノベーシ  
ョンがマストな経済構造。

④新しい資本主義 — 経済安保が成長戦略。成長のための前提として自  
由貿易の旗は降ろせない。ルール形成のど真ん中に居続ける。

報告者氏名 小林 均

# 令和4年度 市町村議会議員特別セミナー③ 日程表

日時: 令和5年1月10日(火)～11日(水)  
会場: 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)

## 1月10日(火)

【専用バス(幕張本郷駅発、市町村アカデミー行き) 11:00、11:25、11:50、12:15発】

11:00～12:30 入所

11:30～12:50 昼食

13:00～13:25 開講のことば、研修日程等説明

13:30～15:00

【演題】歴史に学び地方の未来を読む

【講師】歴史家・作家

加来 耕三 氏

15:15～16:45

【演題】地域の魅力の創造と発信

【講師】事業構想大学院大学学長

田中 里沙 氏

17:30～ 夕食(新型コロナウイルス感染症対策として、情報・意見交換会は行いません)

※ 研修所内宿泊

## 1月11日(水)

7:15～8:45 朝食

9:00～10:30

【演題】ポストコロナ時代における自治体と議会の役割

【講師】東京都立大学法学部教授

大杉 覚 氏

10:45～12:15

【演題】日本経済の課題と展望

【講師】ニッセイ基礎研究所常務理事・チーフエコノミスト

矢嶋 康次 氏

12:15～12:20 閉講のことば

12:20～ 解散、昼食

【専用バス(市町村アカデミー発、幕張本郷駅行・海浜幕張駅行) 各12:40、13:10、13:40発】

※ 講演の内容等是一部変更になる場合があります。

※ 駐車場はありませんので、公共交通機関及び専用バスをご利用ください。

# 令和4年度第3回 市町村議会議員特別セミナー

— 講師プロフィール —

1月10日(火)

【講演1】 13:30~15:00

「歴史に学び地方の未来を読む」

歴史家・作家 か く こうぞう 加来 耕三 氏

歴史家・作家として著作活動を行っている。内外情勢調査会講師。中小企業大学校講師。政経懇話会講師。目下、「偉人・素顔の履歴書」(BS11・土曜夜8時)、「関口宏の一番新しい中世史」(BSTBS・土曜昼12時)に出演中。



【講演2】 15:15~16:45

「地域の魅力の創造と発信」

事業構想大学院大学学長 た な か り さ 田中 里沙 氏

広報・マーケティングの専門誌「宣伝会議」編集長、取締役を経て、新事業、地域人材の研究と育成を行う社会人向け学校法人先端教育機構「事業構想大学院大学」学長。地方制度調査会、「クールビズ」ネーミング、2020エンブレム、G7ロゴマーク委員等。



1月11日(水)

【講演3】 9:00~10:30

「ポストコロナ時代における自治体と議会の役割」

東京都立大学法学部教授 お お す ぎ さ と る 大杉 寛 氏

総務省地域づくり人材の養成に関する研究会座長などをはじめ、国・自治体の審議会等委員を歴任。自治体行政や地域づくり人材育成の研究が専門。『コミュニティ自治の未来図』『これからの地方自治の教科書 改訂版』などを執筆。



【講演4】 10:45~12:15

「日本経済の課題と展望」

株式会社ニッセイ基礎研究所常務理事・チーフエコノミスト や じ ま や す ひ で 矢嶋 康次 氏

企業経営、財政問題、中央銀行の金融政策など幅広い領域について、調査・研究、政策提言を行っている。参議院予算委員会調査室客員調査員、早稲田大学非常勤講師などを兼務。『記憶の居場所-エコノミストがみた日常』など執筆、テレビ出演多数。



# 令和創生の会研修会参加行程表

	月 日	行 程
1日	1/10(火)	<p>【JR東北本線】 【やまびこ126号】 【JR京浜東北線】/【JR総武線】 【専用バス】</p> <p>二本松駅 — 郡山駅 — 東京駅 — 秋葉原駅 — 幕張本郷駅 — <b>市町村アカデミー</b></p> <p>7:59                      8:24/8:50                      10:08/10:22                      10:26/10:38                      11:16/11:25                      研修会13:30~16:45(別紙)</p> <hr/> <p>11:30~12:50昼食                      17:30~夕食</p>
2日	1/11(水)	<p>【専用バス】 【JR総武線】/【JR京浜東北線】 【やまびこ145号】 【JR東北本線】</p> <p><b>市町村アカデミー</b> — 幕張本郷駅 — 秋葉原駅 — 東京駅 — 郡山駅 — 二本松駅</p> <p>研修9:00~12:15(別紙)                      13:26                      14:06/14:11                      14:15/16:00                      17:17/17:41                      18:03</p>

## 【宿泊先】

市町村アカデミー TEL043-276-3126 千葉市美浜区浜田1丁目1番

## 【研修項目】

市町村議会議員特別セミナー(市町村アカデミー主催) 詳細は別紙